

USB メモリ等を経由して感染するウイルスの 汎用対策マニュアル

第 1.0 版 2009 年 3 月 2 日

近畿大学 総合情報システム部 (KUDOS)

更新履歴

版数	更新履歴	更新内容	作成者	確認者
1.0	2009.3.2	1.0 版作成		

目次

1. 本書の位置づけ	4
2. 作業手順	5
2.1. USB メモリ等を経由して感染するウイルスの感染確認・駆除方法 (Windows XP 編)	5
2.2. USB メモリ等を経由して感染するウイルスの感染確認・駆除方法 (Windows Vista 編)	8
2.3. 予防方法 (Windows XP 編)	11
2.4. 予防方法 (Windows Vista 編)	13
2.5. 感染被害を減らすために	15

1. 本書の位置づけ

本書では、以下の順序で USB メモリ等を経由して感染するウイルスの感染確認から駆除、予防方法までの手順を説明します。

- ① USB メモリ等を経由して感染するウイルスの感染確認・駆除方法(Windows XP 編)
- ② USB メモリ等を経由して感染するウイルスの感染確認・駆除方法(Windows Vista 編)
- ③ 予防方法(Windows XP 編)
- ④ 予防方法(Windows Vista 編)
- ⑤ 感染被害を減らすために

また、今回の手順書は下記の OS を例にして作成しています。

- ・Windows XP(全てのエディションと全ての SP)
- ・Windows Vista(全てのエディションと全ての SP)

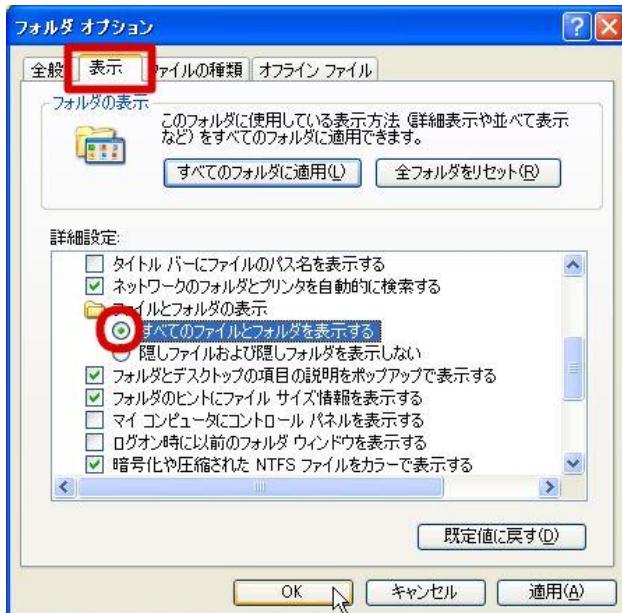
2. 作業手順

2.1. USB メモリ等を経由して感染するウイルスの感染確認・駆除方法(Windows XP 編)

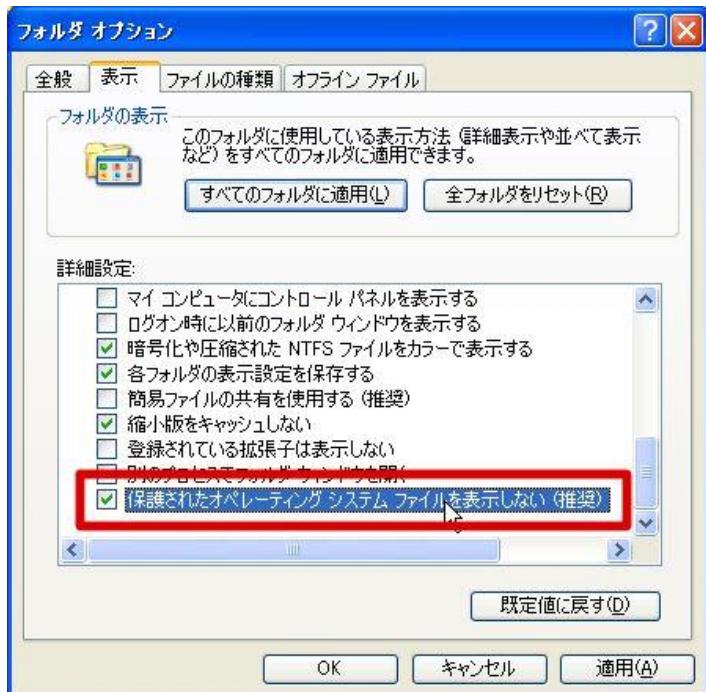
■手順 1. 感染確認を実施したい外部記憶媒体のフォルダを開き、「ツール」から「フォルダオプション」をクリックします。



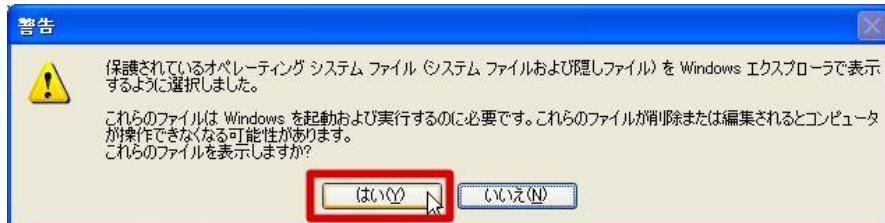
■手順 2. 「表示」タブ内の「すべてのファイルとフォルダを表示する」にチェックを入れます。



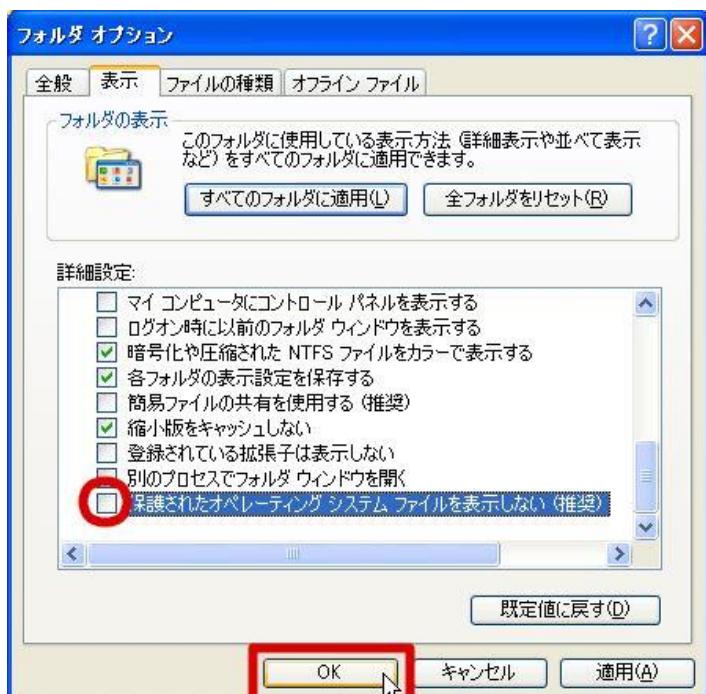
■手順3. 「保護されたオペレーションシステムファイルを表示しない」のチェックを外します。



■手順4. 下図の警告画面が表示されますので、「OK」をクリックします。



■手順5. チェックが外れた事を確認し、「OK」をクリックします。



■手順 6. フォルダ内を確認します。下記図のように、「autorun.inf」というファイルが存在する場合はウイルスに感染している可能性があります。



「autorun.inf」とは、USB メモリ等の外部記憶媒体を PC に差し込んだときに最初に読み込まれるファイルです。このファイルの中に、外部記憶媒体内のウイルスを実行させるプログラムが書き込まれている場合があります。ウイルス本体の名前は拡張子に「.bat」「.cmd」「.com」等がついています。

「autorun.inf」が存在しない場合はウイルス感染していません。

以上で感染確認は完了です。感染が確認された場合は『■手順 7』を実施してください。

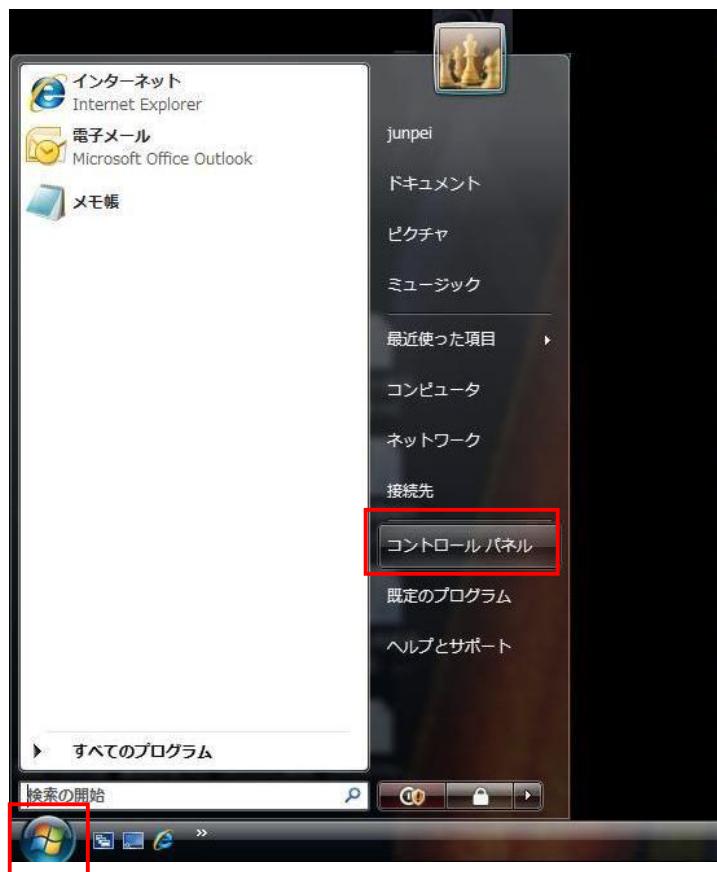
■手順 7. 「autorun.inf」を削除します。必要に応じて、「.bat」「.cmd」「.com」等のファイルも同様に削除して下さい。

以上で USB メモリ等を経由して感染するウイルスの感染確認・駆除は完了です。

『2.3. 予防方法(Windows XP 編)』にお進みください。

2.2. USB メモリ等を経由して感染するウイルスの感染確認・駆除方法(Windows Vista 編)

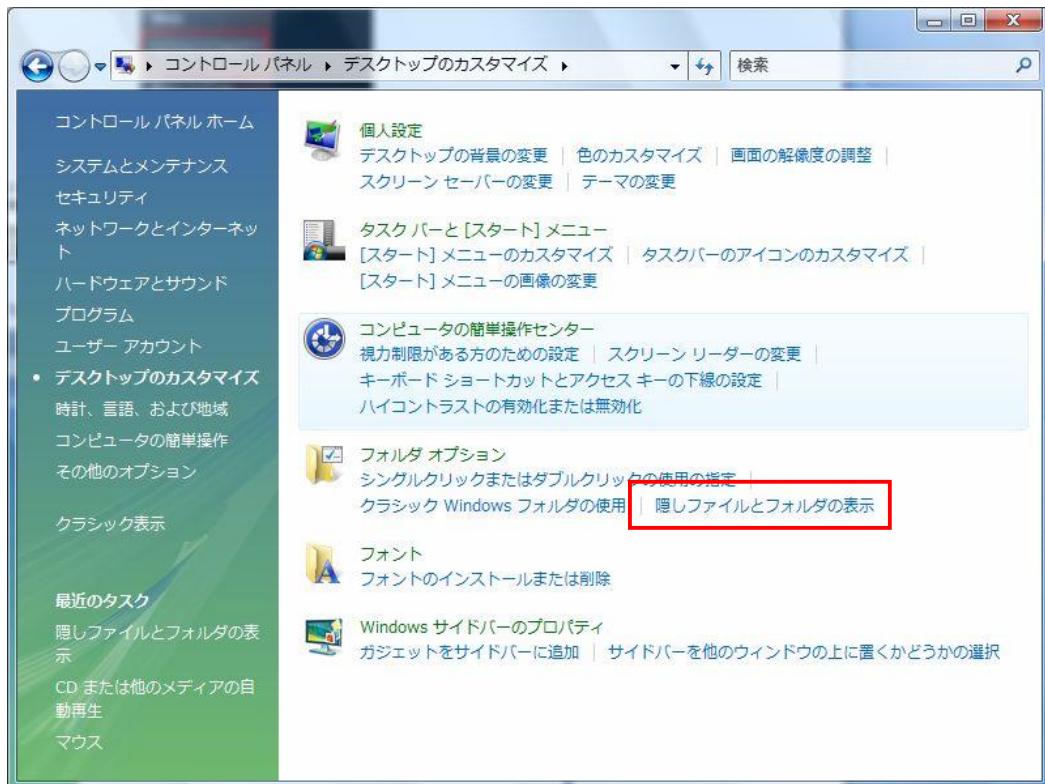
■手順 1. スタートボタンをクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。



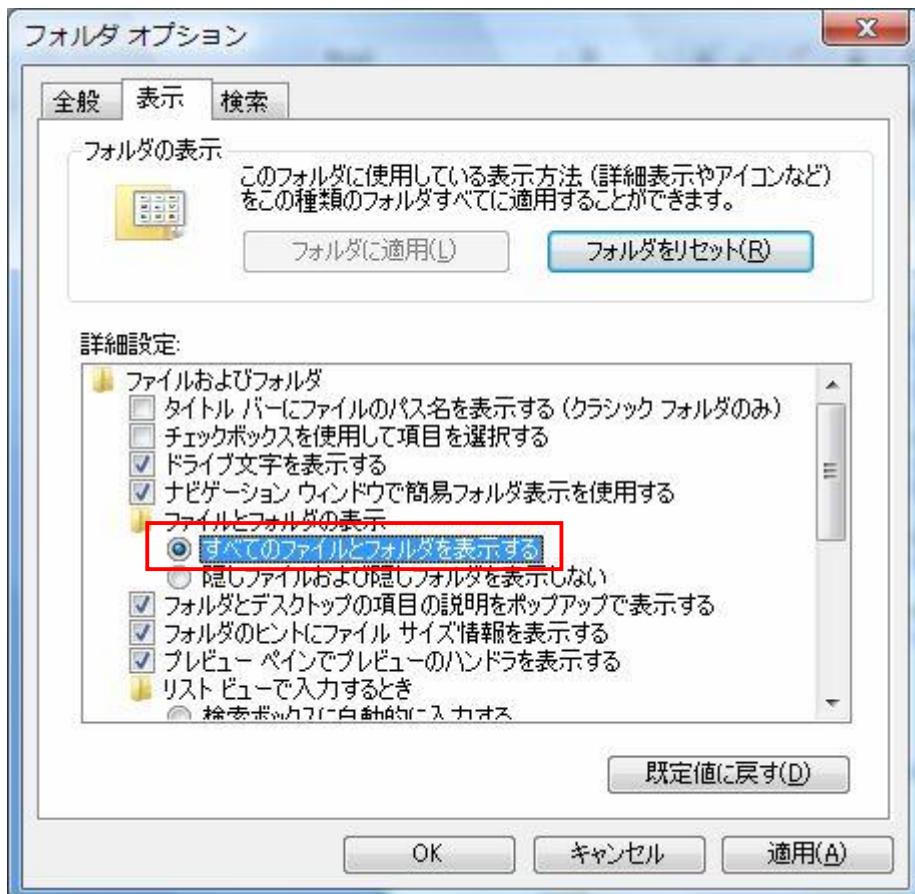
■手順 2. 「デスクトップのカスタマイズ」をクリックします。



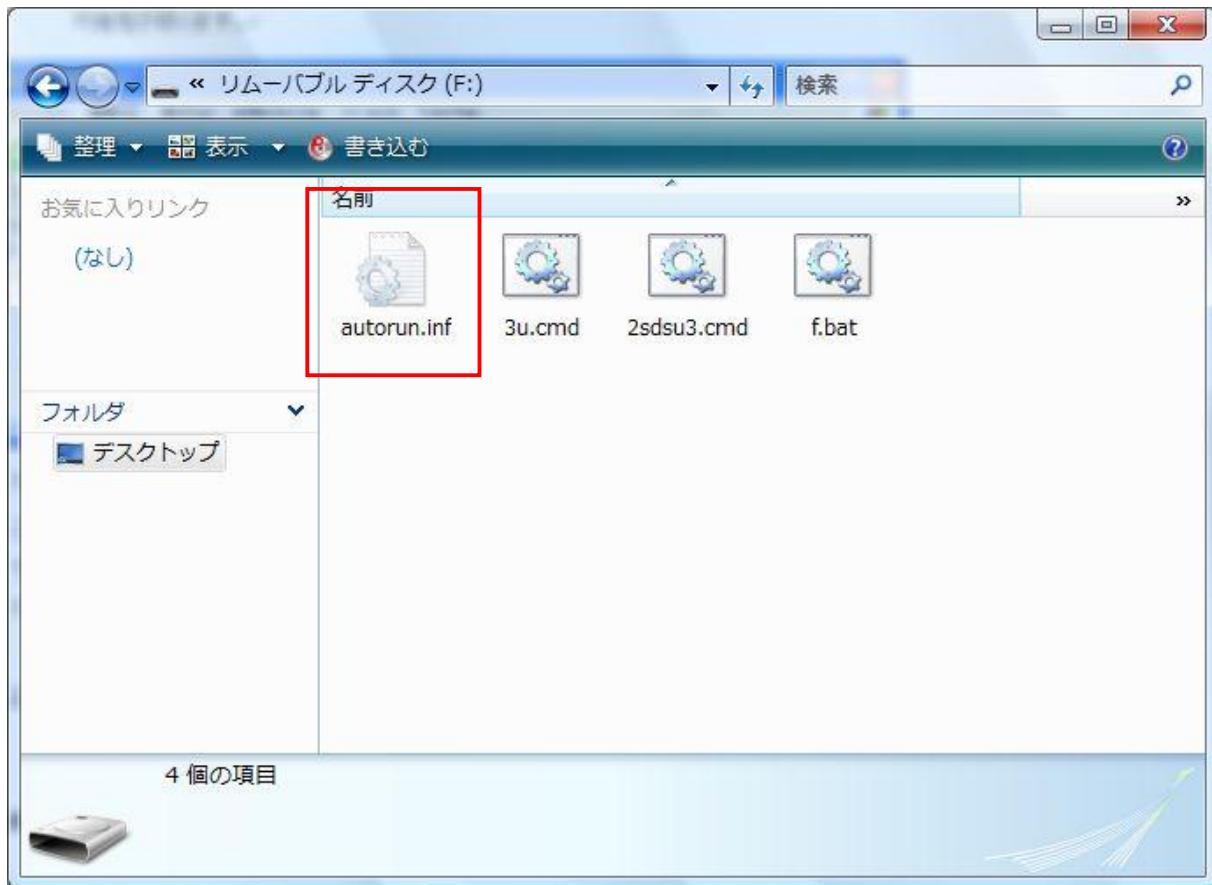
■手順3. 「隠しファイルとフォルダの表示」をクリックします。



■手順4. 「すべてのファイルとフォルダを表示する」をクリックします。



■手順5. 外部記憶媒体のフォルダ内を確認します。下記図のように、「autorun.inf」というファイルが存在する場合はウイルスに感染している可能性があります。



「autorun.inf」とは、USBメモリ等の外部記憶媒体をPCに差し込んだときに最初に読み込まれるファイルです。このファイルの中に、外部記憶媒体内のウイルスを実行させるプログラムが書き込まれている場合があります。ウイルス本体の名前は拡張子に「.bat」「.cmd」「.com」等がついています。「autorun.inf」が存在しない場合はウイルス感染していません。

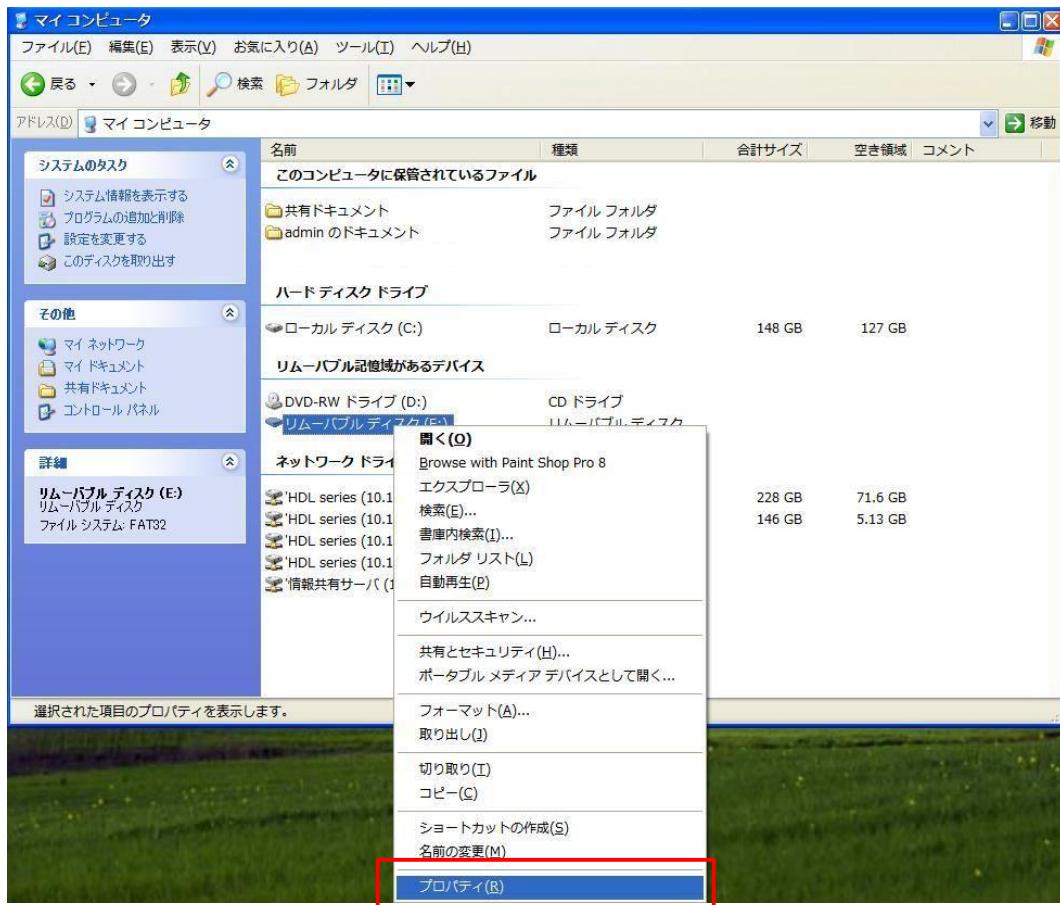
以上で感染確認は完了です。感染が確認された場合は『■手順6』を実施してください。

■手順6. 「autorun.inf」を削除します。必要に応じて、「.bat」「.cmd」「.com」等のファイルも同様に削除して下さい。

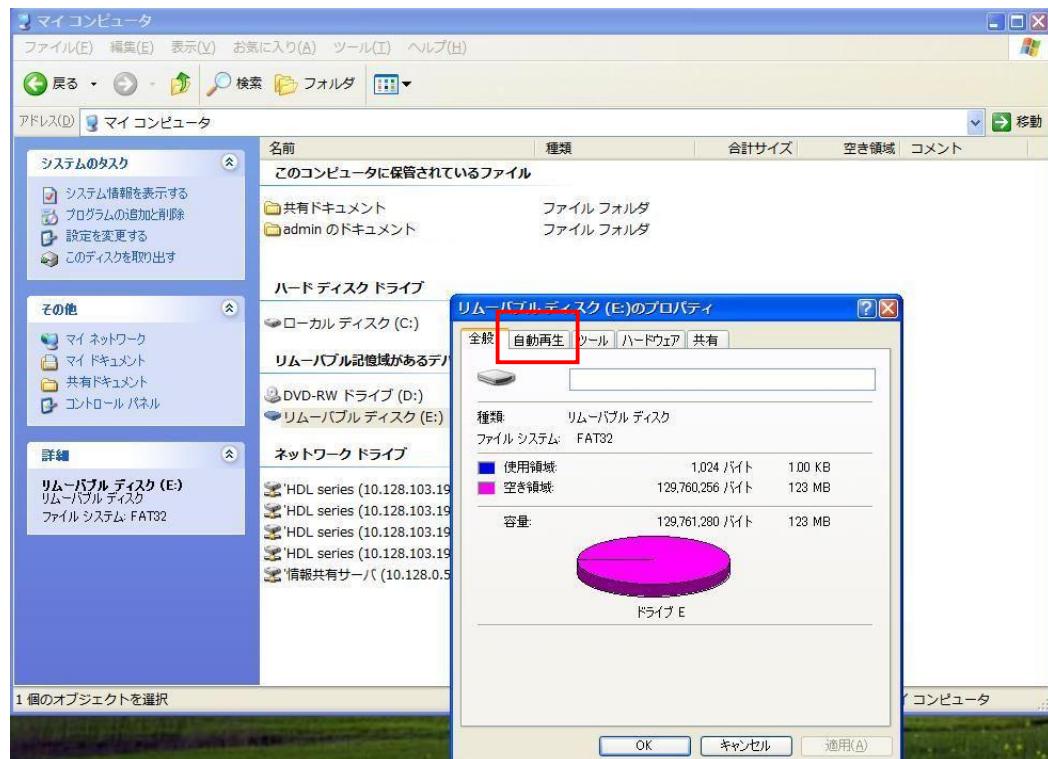
以上でUSBメモリ等を経由して感染するウイルスの感染確認・駆除は完了です。
『2.4. 予防方法(Windows Vista編)』にお進みください。

2.3. 予防方法(Windows XP 編)

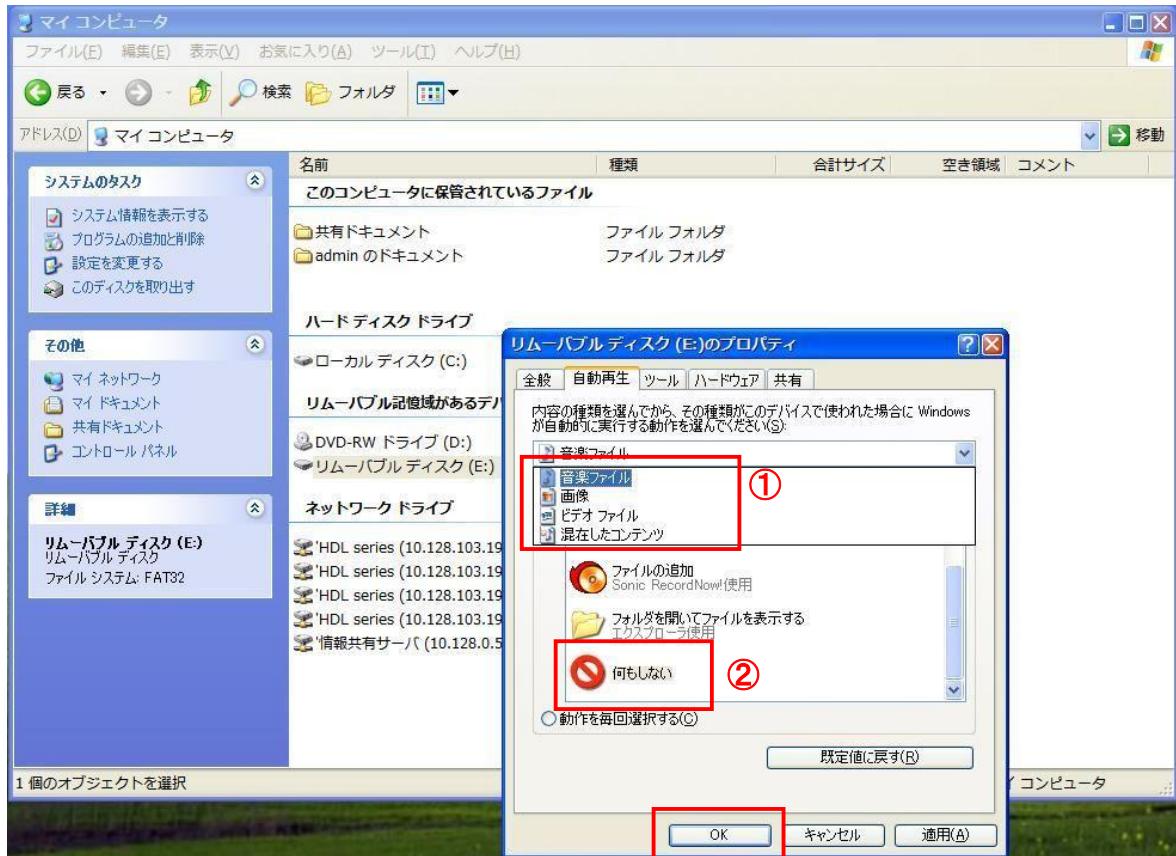
■手順 1. 外部記憶媒体を PC に挿入し、マイコンピュータから外部記憶媒体を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



■手順 2. 「自動再生」のタブをクリックします。



■手順3. 下記図の①のそれぞれのファイルタイプごとに、②で「何もしない」を選択し、最後に[OK]ボタンを押します。

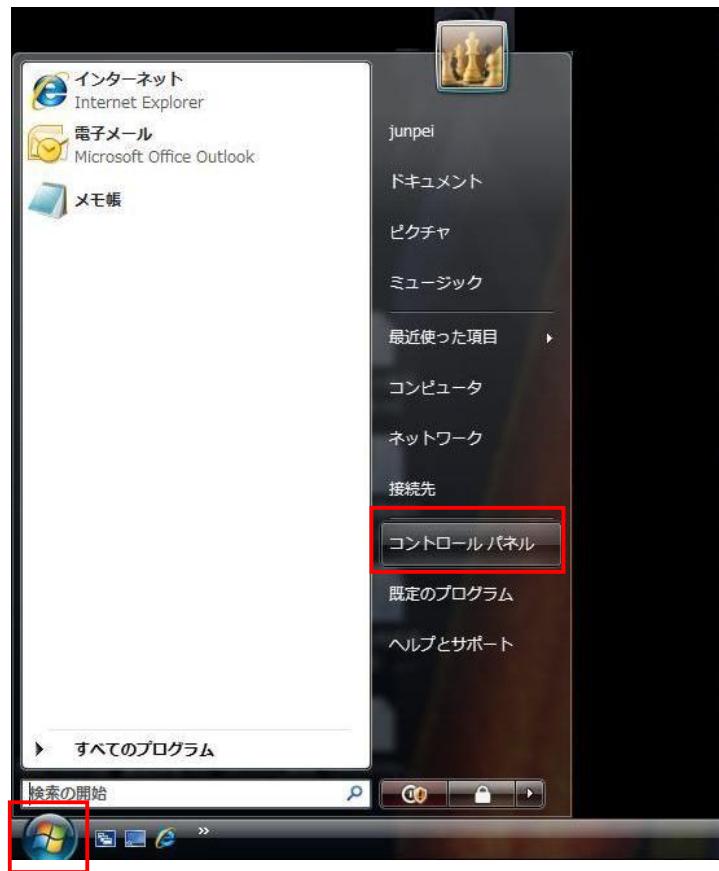


以上です。

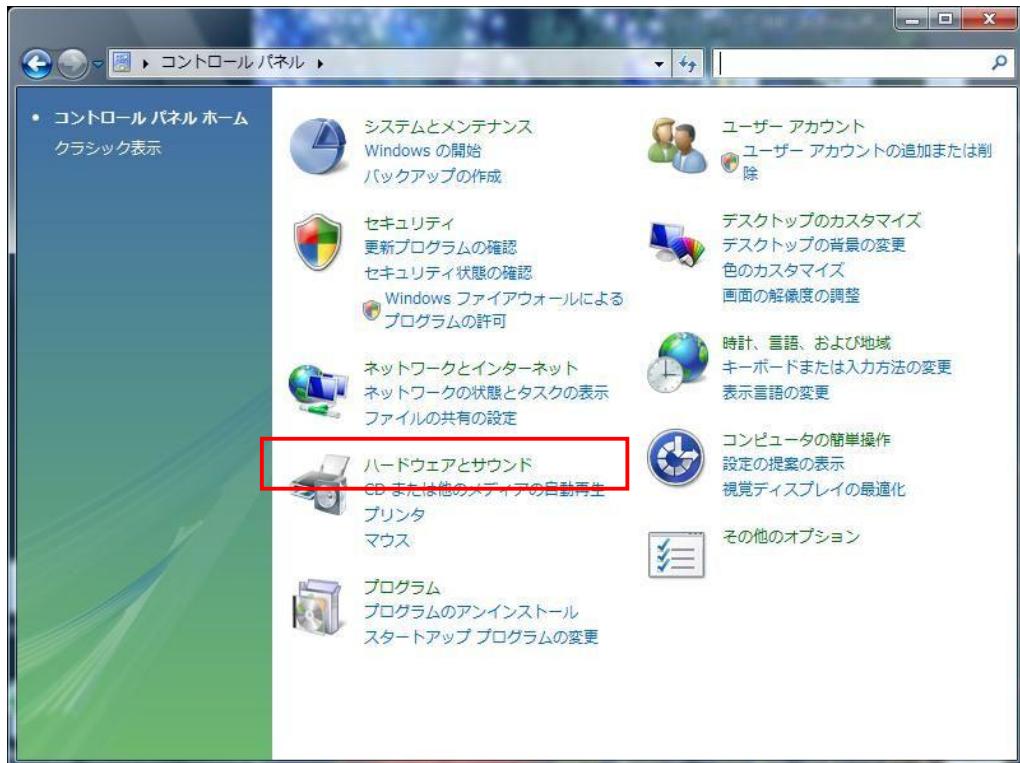
今後、この設定を実施したパソコンにUSBメモリ等を挿しこんでも自動起動しないようになります。

2.4. 予防方法(Windows Vista 編)

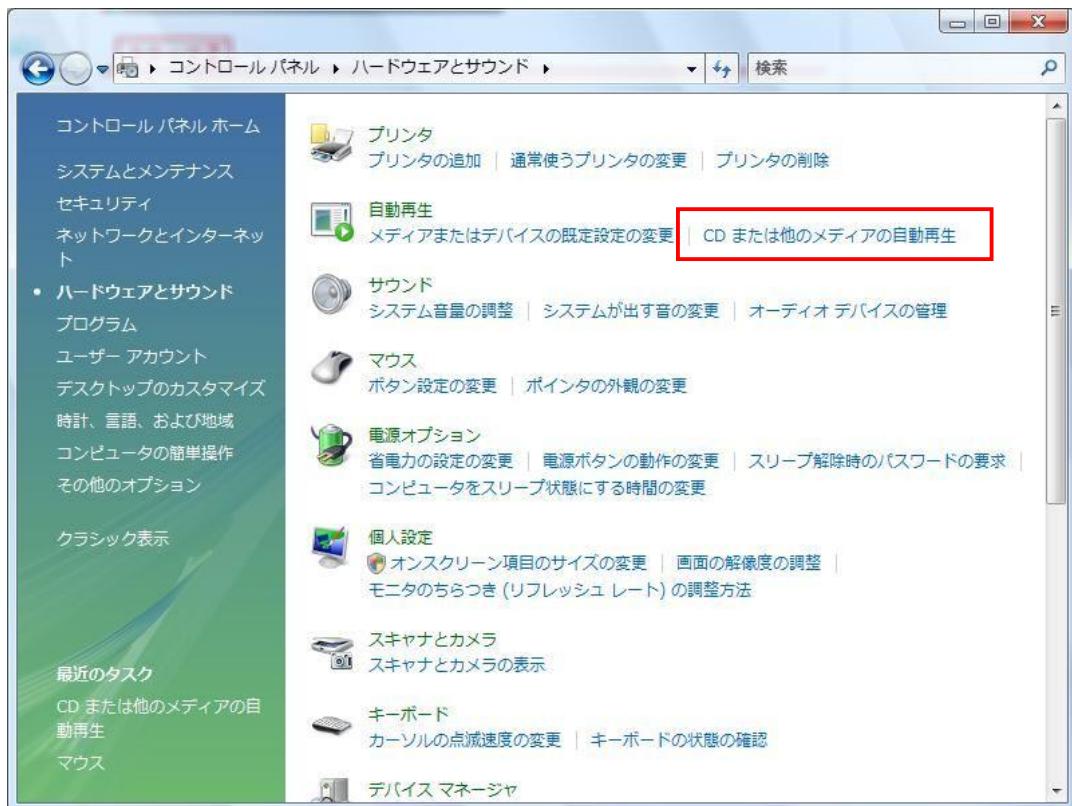
■手順 1. スタートボタンをクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。



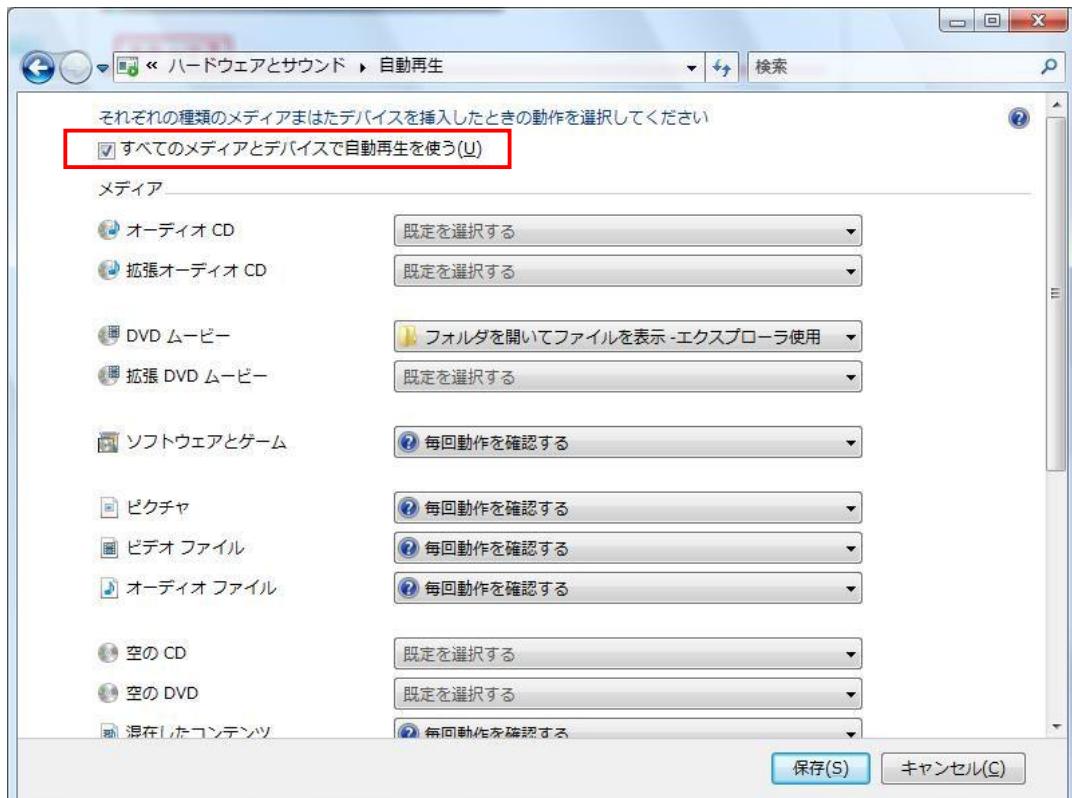
■手順 2. 「ハードウェアとサウンド」をクリックします。



■手順3. 「CDまたは他のメディアの自動再生」をクリックします。



■手順4. 「すべてのメディアとデバイスで自動再生を使う」のチェックを外します。



以上です。今後、この設定を実施したパソコンにUSBメモリ等を挿しこんでも自動起動しないようになります。

2.5. 感染被害を減らすために

以上で USB メモリ等を経由して感染するウイルスの対策は完了です。

今後も、下記3点をお使いの PC に実施して頂かないと、同様の事象が発生する可能性がありますので、遵守して頂きますようお願い致します。

- ① 定期的に WindowsUpdate を実施し、Windows を常に最新の状態にする
- ② ウイルス対策ソフトのパターンファイルを常に最新の状態にする
- ③ 自分のパソコンで、安易に他人の USB メモリ等を使用しない